

平成 30 年度 江戸川区受託 人材育成事業

おきがる環境講座

報告書

平成 31 年 2 月



特定非営利活動法人 共生・協働の環境づくり

えどがわエコセンター



目次



はじめに

- 1) 経緯
- 2) 目的
- 3) 設定

1 カリキュラム概要

2 各講座の概要

3 総括

- 1) まとめ
- 2) 次年度へ向けて

付属資料：

アンケート調査結果

はじめに

1) 経 緯

「おきがる環境講座」は、平成 16 年度（19 年度までの名称は「環境学習リーダー養成講座」）に、江戸川区からえどがわエコセンター（環境保全部会、Dream Box、イノシン倶楽部）に引き継がれ、平成 19 年度からは区の委託事業として実施している。

平成 29 年度までに受講者累計は 3,914 名を数え、人材育成講座としての一定の役割を果たしている。

2) 目 的

「おきがる環境講座」は、環境について学び考え、日常的に地域で活動することができる区民を育成することを目的とする。併せて、「エコタウンえどがわ」を実現するためのリーダー的存在になるような人材を育成する。

3) 設 定

オープニング (No. 1)、基礎 (No. 2-8)、総論 (No. 9) の 3 部構成とし、基礎から実践まで無理なく段階的に学ぶことができる内容とした。

また、座学により環境に関する知識・情報を伝えるとともに、講演会、施設見学、ワークショップ等の体験的に学ぶ要素を取り入れた。

テーマについては「地球温暖化防止」「自然環境保全」「資源循環」「総論」の 4 つを設定することで、環境についてまんべんなく学ぶことができるカリキュラム構成とした。

1 カリキュラム概要

全9回 <平成30年7月11日(水)～平成31年2月14日(木)>

オープニング

No. 1 野口 健 氏 講演会「富士山から日本を変える」

7/11 (水)

基礎

地球温暖化防止

No. 2 異常気象と2100年の日本

8/21 (火)

No. 3 燃料電池で動く都バスに乗って、未来のエネルギーを
学びに行こう！～「水素情報館・東京スイソミル」
「えこっくる江東」見学～

7/21 (土)

No. 4 地球温暖化と異常気象
～「首都圏外郭放水路」「新三郷浄水場」バス見学会～

11/1 (木)

基礎

自然環境保全

No. 5 葛西海浜公園で干潟をきれいにしよう！
～清掃活動を通じて自然体験～

10/20 (土)

No. 6 ラムサール条約と湿地の保全
～西なぎさの野鳥観察会ほか～

2/14 (木)

基礎

資源循環

No. 7 エコクッキングで減らそう！食品ロス

9/20 (木)

No. 8 ごみの行方を見てみよう！ ～「新江東清掃工場」
「中央防波堤埋立処分場」バス見学会～

11/21 (水)

総論

No. 9 “SDGs”って何だろう？

12/10 (月)

【表 1】おきがる環境講座 実施概要

	実施日	テーマ		タイトル	講師	会場
第1回	7/11(水) 18:30～ 20:00	自然環境保全	環境保全	オープニング企画 野口健氏講演会「富士山から日本を変える」	野口 健 (アルピニスト)	タワーホール船堀 小ホール
第2回	7/21(土) 9:00～ 12:00	地球温暖化防止	水素社会	燃料電池で動く都バスに乗って、未来のエネルギーを学びに行こう！～ 「水素情報館・東京スイツミル」 「えこつくる江東」見学～	トヨタ自動車(株) 岸本 岳、東京 スイツミル解説員	水素情報館・東京スイツミル えこつくる江東
第3回	8/21(火) 18:30～ 20:00	地球温暖化防止	気候変動	異常気象と2100年の日本	村山 貢司 (気象予報士)	タワーホール船堀 307 会議室
第4回	9/20(木) 15:00～ 16:30	資源循環	食品ロス	エコクッキングで減らそう！ 食品ロス	石川 麻美(江戸川区清掃課ごみ減量係) 倉内 皓子(エコクッキングを楽しむ会)	グリーンパレス 料理講習室
第5回	10/20(土) 9:30～ 12:00	自然環境保全	清掃活動	葛西海浜公園で干潟をきれいにして！～清掃活動を通じて自然体験～	橋爪 慶介 ディクテック (DEXTE-K)	葛西海浜公園・西なぎさ
第6回	11/1(木) 8:00～ 17:00	地球温暖化防止	防災(適応策)	地球温暖化と異常気象～ 「首都圏外郭放水路」「新三郷浄水場」バス見学会～	現地解説員	首都圏外郭放水路 新三郷浄水場
第7回	11/21(水) 8:30～ 16:30	資源循環	廃棄物	ごみの行方を見よう～ 「新江東清掃工場」 「中央防波堤埋立処分場」 バス見学会～	現地解説員	新江東清掃工場 中央防波堤埋立処分場
第8回	12/10(月) 14:00～ 15:30	総論	SDGs	エスディーゼス “SDGs”って何だろう？	川嶋 直 (JEEF 理事長)	タワーホール船堀 産業振興センター
第9回	2/14(木) 9:30～ 12:00	自然環境保全	野鳥生息地の保全	ラムサール条約と湿地の保全～西なぎさの野鳥観察会ほか～	飯田 陳也 (葛西東渚・鳥類園友の会)	葛西臨海公園・鳥類園ウォッチングセンター

2 各講座の実施概要

※江戸川区の策定した「第2次エコタウンえどがわ推進計画(2018-2030)」に基づき、SDGsの目標に照らし合わせ、各講座のねらいをロゴで表している。

【第1回】 オープニング企画
野口 健 氏 講演会 「 富士山から日本を変える 」

テーマ	自然環境保全 環境保全		
形式	講演会		
講師	野口 健 氏 (アルピニスト)		
対象	一般	参加	215名
会場	タワーホール船堀 5階 小ホール (江戸川区船堀 4-1-1)		
日時	平成 30 年 7 月 11 日 (水) 18:30 ~ 20:00		
目的と概要	<p>地球環境に配慮するため、参加者一人ひとりが自らできることを考えるきっかけづくりの場としてもらうことを目的とした。</p> <p>登山家の野口健氏を講師に招き、富士山やエベレストで清掃を始めた経緯や、著しく汚染されている各地の環境問題を、現場での実体験を感じたままに表現し、語っていただく講演会とした。</p>		
課題と評価	<p>アンケートでは「環境問題がとても身近に感じられ考えさせられた。ごみ問題について自分でできることをはじめたい。」等、環境問題を自分事と捉え、何か行動を起こしたいという記述が多く見られ、環境について考え行動するきっかけづくりの場とするねらいは概ね達成できた。</p>		
画像	   		

【第2回】燃料電池で動く「都バス」に乗って、未来のエネルギーを学びに行こう！～「水素情報館・東京スイソミル」「えこっくる江東」見学～

テーマ	地球温暖化防止 水素社会		
形式	燃料電池バスの試乗・施設見学		
講師	①「東京スイソミル」解説員 ②岸本 岳 氏（トヨタ自動車㈱東京技術部担当課長）		
対象	親子	参加	21名
見学場所	①水素情報館・東京スイソミル（江東区潮見 1-3-2） ②江東区立環境学習情報館・えこっくる江東（江東区潮見 1-29-7） ※集合・解散場所はタワーホール船堀		
日時	平成 30 年 7 月 21 日（土） 9:00 ～ 12:00		
目的と概要	東京都交通局が路線バスとして運行している燃料電池バスへの試乗とともに、「水素情報館・東京スイソミル」や「えこっくる江東」を見学し、都が目指す「水素社会」について理解してもらう。また、環境配慮行動について、自分ができることから取り組んでいくきっかけづくりの場となるような内容とした。		
課題と評価	トヨタ自動車㈱の開発担当者から直接解説していただいたことで、「燃料電池バス」の特徴やメリットをより具体的に参加者に伝えることができた。 夏休み期間中の親子対象の講座とし、バスの試乗だけでなく、運転席での記念撮影なども取り入れ、子どもたちにとっても貴重な体験学習の場となったと考える。この経験を活かし、将来、課題解決のきっかけになることを望む。		
画像	   		

【 第 3 回 】 異常気象と2100年の日本

テーマ	地球温暖化防止 気候変動		
形式	講義		
講師	村山 貢司 氏 (財団法人気象業務支援センター/気象予報士)		
対象	一般	参加	16名
会場	タワーホール船堀 307会議室 (江戸川区船堀 4-1-1)		
日時	平成 30 年 8 月 21 日 (火) 18:30 ~ 20:00		
目的と概要	<p>地球温暖化の進行と「異常気象*」について気象予報士から現状を学ぶとともに、温室効果ガスの排出状況から、今後温暖化の影響がどのように予測されているかを知る。</p> <p>近年の集中豪雨や猛暑日の増加から実感されるように、温暖化の影響による自然災害に備え、防災意識を高めるとともに、温暖化の進行を抑えるため、一人ひとりの省エネや省資源の取り組みこそが重要であることを学ぶ。</p>		
課題と評価	<p>村山氏は、温暖化がもたらす異常気象の将来予測だけでなく、自らが省エネの実践家であるため説得力があった。一人ひとりの環境意識を高め、持続可能な社会づくりを目指す江戸川区に最適な講師といえる。引き続き村山先生に講義をいただくとともに「首都圏外郭放水路」バス見学会と関連付けて実施する方法を考えたい。</p>		
画像			

※30年に1度程度起こる平年と比べてかけ離れたような天候現象

【第4回】エコクッキングで減らそう！食品ロス

テーマ	資源循環 食品ロス		
形式	体験と講義		
講師	①倉内 皓子 氏 (調理師・「エコクッキングを楽しむ会」代表) ②石川 麻美 氏 (江戸川区環境部清掃課ごみ減量係長)		
対象	一般	参加	11名
会場	グリーンパレス4階 料理講習室 (江戸川区松島1-38-1)		
日時	平成30年9月20日(木) 15:00～16:30		
目的と概要	<p>日本の食料自給率は4割で、多くは輸入に依存しているにも関わらず、まだ食べられる食品が多く捨てられている。そのような「食品ロス」の現状を知り、ごみの減量と食べ物を大切にする暮らしの実践につなげる。</p> <p>1) 食品ロスの現状と江戸川区の取り組み (石川 麻美 氏) 2) 食べものの輸送に関わる環境負荷等と、環境配慮の取り組み (事務局) 3) 「たべきりレシピ」実践指導 (倉内 皓子 氏)</p> <p>[調理メニュー] 切干大根の簡単煮 (みんなの食べきりレシピ) / 小松菜と雑魚のまぜごはん / 小松菜とわかめのお味噌汁</p>		
課題と評価	<p>参加者は少なかったが、調理実践を取り入れた講座としては適当な人数であった。</p> <p>エコセンターの講座参加者は60～70歳代がほとんどを占めているなか、本講座は30～40歳代の参加があった。</p> <p>若年世代がどのように環境問題と関わっていきたいと考えているのか、本講座の企画運営を通して探っていききたい。</p>		
画像			

【 第 5 回 】 葛西海浜公園で干潟をきれいにしよう！
～清掃活動を通して自然体験～

テーマ	自然環境保全 清掃活動		
形式	体験		
講師	橋爪 慶介 (DEXTE-K 代表)		
対象	一般	参加	70名
会場	葛西海浜公園・西なぎさ (江戸川区臨海町六丁目地先)		
日時	平成 30 年 10 月 20 日 (土) 9:30 ~ 12:00		
目的と概要	ラムサール条約*登録湿地となる葛西海浜公園において、清掃活動を通して、身近な自然環境に親しみながら、生物多様性を保全していくために自分に何ができるかを考えるきっかけとする。		
課題と評価	<p>開催日前々日の 18 日、葛西海浜公園がラムサール条約登録湿地となり、タイムリーな講座開催となった。</p> <p>本活動は、世界的な課題となっているプラスチック海洋汚染問題を学ぶのに最適な取り組みで、CSR活動として定評があることから、次年度は区民だけでなく企業にも声かけを行い、幅広く参加者を募り、実施したい。</p> <p>【今回の参加企業】 TOTO グループ/エコー電子工業/ジブラルタ生命/豊通ファシリティーズ/あずさ監査法人 【回収したごみの量】 ごみ袋 (45ℓ) 28 袋</p>		
画像			

※正式名称「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」

【 第 6 回 】地球温暖化と異常気象
 ～ 「 首都圏外郭放水路 」 「 新三郷浄水場 」 バス見学会～

テーマ	地球温暖化防止 防災（適応策）			
形式	バス見学			
講師	現地解説員			
対象	一般	参加	25名	
見学場所	①首都圏外郭放水路・地底探検ミュージアム「龍Q館」 （埼玉県春日部市上金崎 720） ②新三郷浄水場（埼玉県三郷市南蓮沼 1） [昼食] 道の駅「庄和」研修室（埼玉県春日部市上柳 995） ※集合・解散場所はタワーホール船堀			
日時	平成 30 年 11 月 1 日（木） 8：00 ～ 17：00			
目的と概要	台風の大型化、集中豪雨等の地球温暖化による異常気象がますます増加していくことが予測されている。今期の夏は日本各地で豪雨の被害が相次いでいることから、「首都圏外郭放水路」を見学し、温暖化の防止と地域の防災について一人ひとりができることを考えるきっかけづくりの場とする。			
課題と評価	9月に「気候変動適応計画」が公開され、タイムリーな内容となった。 バスの車内では、江戸川区が策定した「第2次エコタウンえどがわ推進計画」と温暖化による異常気象の未来予測に関する映像※を視聴して、講座内容の理解を深めた。 ※「みんなで目指そう！日本一のエコタウン～第2次エコタウンえどがわ推進計画～」 ※シリーズ「NHKスペシャル 巨大災害 地球大変動の衝撃」第1集「異常気象暴走する大気と海の大循環」			
画像				

【 第 7 回 】 ごみの行方を見てみよう！
 ～「新江東清掃工場」「中央防波堤埋立処分場」バス見学会～

テーマ	資源循環 廃棄物		
形式	バス見学		
講師	現地解説員		
対象	一般	参加	22名
見学場所	①新江東清掃工場（江東区夢の島 3-1-1） ②中央防波堤埋立処分場（江東区青海 3 丁目地先） [昼食] テレコムセンター（江東区青海 2-5-10） ※集合・解散場所はタワーホール船堀		
日時	平成 30 年 11 月 21 日（水） 8：30 ～ 16：30		
目的と概要	清掃工場に集められた膨大な量のごみや、限りある最終処分場を実際に目で見て体感することにより、日頃の生活でごみを減らすことの大切さを改めて考えるきっかけとする。		
課題と評価	身近に、ごみの行方を見学できる場があり、受け入れ体制も整っている。体験的に学ぶことのできる講座として、今後も継続して実施していきたい。		
画像			
			

【第8回】“SDGs”って何だろう？

テーマ	総論 SDGs		
形式	ワークショップ		
講師	川嶋直氏 (公益社団法人日本環境教育フォーラム 理事長)		
対象	一般	参加	29名
会場	タワーホール船堀3階 産業振興センター (江戸川区船堀4-1-1)		
日時	平成30年12月10日(月) 14:00 ~ 15:30		
目的と概要	<p>SDGs*(持続可能な開発目標)は、環境・社会・経済の課題を解決するため、地域から世界までの共通の目標とされ、解決のためには全員の参加が必要とされている。まずはこの目標が何かを、区民一人ひとりに知ってもらうことを目的とする。</p> <p>ESD*(持続可能な発展のための教育)の立場からSDGsの普及に尽力する、川嶋氏を講師に迎え、ワークショップを取り入れながら分かりやすく解説する。</p>		
課題と評価	<p>講座のはじめに、江戸川区環境推進課担当者による「第2次エコタウンえどがわ推進計画」の概要説明を取り入れ、区の施策とSDGsとの関連について説明できた。</p> <p>講座終了後も、講師や参加者同士の意見交換が続いていた様子から、この講座により参加者がSDGsを自分事であると認識できたものとする。</p> <p>今後は、持続可能な地域社会を目指していくため、SDGsという指針を活用し、自らの活動や地域の課題と17の目標をどうつなげていくか、参加者一人ひとりに考えてもらう講座にしていきたい。</p>		
画像			

※SDGs = Sustainable Development Goals

※ESD = Education for Sustainable Development

【 第 9 回 】ラムサール条約登録と湿地の保全
～西なぎさの野鳥観察会ほか～

テーマ	自然環境保全 野鳥生息地の保全		
形式	体験と講義		
講師	飯田 陳也 氏 (葛西東渚・鳥類園友の会会長)		
対象	一般	参加	18名
会場	葛西臨海公園・鳥類園ウォッチングセンター1階 レクチャールーム		
日時	平成 31 年 2 月 14 日 (木) 9:30 ~ 12:00		
目的と概要	<p>10月にラムサール条約登録湿地となった葛西海浜公園において、ラムサール条約の概要とそこに飛来する野鳥に関する講話、登録の鍵となったスズガモ等の水鳥観察会を行う。</p> <p>条約の主旨でもある「ワイズユース」を実践するため、海浜公園の自然環境の豊かさについて理解し親しみを持ってもらう。</p>		
課題と評価	<p>前段の野鳥観察会は、海浜公園・西なぎさの突堤まで歩き、スズガモ等を観察するコースを想定していたが、強風のため、臨海公園からの観察となった。</p> <p>後半の講義での飯田氏の話には、参加者が皆興味深く聞き入っていた。質疑応答も活発で関心の高さをうかがわせており、引き続き実施していきたい。</p>		
画像			

3 総括

1) まとめ

おきがる環境講座全体の構成や個別の講座内容は、アンケート結果から、バランスよく体験的に楽しく分かりやすい講座を提供できたと考える。

昨今の地球温暖化の影響による異常気象やプラスチック海洋汚染問題等もカリキュラムに取り入れたことにより、参加者が日常生活の中で、より環境に配慮した暮らしを实践するきっかけづくりの場になったと考える。

また、江戸川区との連携により、本講座を通して、環境部が策定した「エコタウンえどがわ推進計画」の概要紹介や清掃課の施策等を直接区民に伝える窓口としての役割を果たすことができた。

2) 次年度へ向けて

オープニング企画には定員を超える参加があったことから、多くの方に第2回以降の講座案内をすることができた。

またアンケートにより、講座案内の送付を希望する約40件のリストができ、その後の募集案内に役立てることができた。

次年度は、ペーパーレス化をすすめていくため、同様に、アンケートを利用して、メールアドレスのリストを得る設問を設けることにしたい。

引き続き、施策の窓口となるよう積極的に区役所との連携を図っていくとともに、外部組織とも積極的にパートナーシップを進めていくことで講座の内容充実を図っていききたい。

また、おきがる環境講座をえどがわエコセンター会員のステップアップの場としても活用できるよう、活動の場を充実させていく仕組みづくりを検討していきたい。

以上をまとめ、次年度は講座の更なる質的向上のため、【表2】の指針をもって、カリキュラムを構築していく。

【表2】おきがる環境講座 継続実施における評価項目

	指標	評価点
1	参加人数	環境に関する情報等について、より多くの区民への普及啓発に貢献したか
2	アンケート	参加者が内容を理解できたか
3	アンケート	環境について意識し実践していくきっかけとなったか
4	共催・協力	エコセンター内外から各々専門とする、個人・組織の協力を得ることで、講座内容の充実を図れたか
5	区役所との協働	「エコタウンえどがわ推進計画」をはじめ、区役所の環境施策を区民に伝える窓口となったか
6	もりあげ隊従事者数	会員の学習および活動機会の充実が図れたか

付属資料

アンケート調査結果



【表 3】おきがる環境講座 参加人数とアンケート調査結果

タイトル	参加人数 (人)	アンケート 回答数 (件)	内容理解 (%)			行動のきっかけ に (%)			エコ会員 従事者数 (もりあげ隊)
			① 理解できた	② まあまあ理解	① + ②	③ 十分だった	④ なった	③ + ④	
第1回 オープニング企画 野口健氏講演会「富士山から 日本を変える」	215	184	-	-	-	-	-	-	7
第2回 燃料電池で動く都バスに乗って、 未来のエネルギーを学びに行こう！ ～「水素情報館・東京スイミル」 「えこっくる江東」見学～	21 (9)	12	100	0	100	75	25	100	4
第3回 異常気象と2100年の日本	16	16	47	53	100	31	63	94	1
第4回 エコクッキングで減らそう！食品ロス	11	11	100	0	100	82	18	100	4
第5回 葛西海浜公園で干潟をきれいに しよう！～清掃活動を通じて 自然体験～	70	7	86	14	100	71	29	100	3
第6回 地球温暖化と異常気象 ～「首都圏外郭放水路」 「新三郷浄水場」バス見学会～	25	25	72	28	100	46	54	100	3
第7回 ごみの行方を見てみよう！～ 「新江東清掃工場」「中央防波 堤埋立処分場」バス見学会～	22	21	81	19	100	71	29	100	2
第8回 “SDGs”って何だろう？	29	27	28	72	100	42	54	96	0
第9回 ムササビ条約と湿地の保全 ～西なぎさの野鳥観察会ほか～	18	14	93	7	100	77	23	100	1
合計	427 人	317 件	70	30	100	57	41	98	25 人

※()は子どもの人数

【表 3】の説明

各講座のアンケート調査において、オープニング企画を除いた第 2 回目以降に、同様の設問を設けて目的達成状況を比較できるようにした。

「内容理解」に対する回答は 4 段階とし、①「理解できた」②「まあまあ理解できた」「あまり理解できなかった」「理解できなかった」のいずれかを選択する設問とした。

設問については、講座ごとに、内容と「ねらい」（参加者に理解してもらいたい内容）を踏まえた設問の内容とした。内容を【表 4】に示す。

「行動のきっかけ」については設問を統一して以下の囲みの通りとし、③「十分きっかけになった」④「きっかけになった」「あまりきっかけにならなかった」「きっかけにならなかった」のいずれかを選択する設問とした。

えどがわエコセンターでは、環境について「意識し、実践していく」ことを呼びかけています。今回の講座はそのきっかけになりましたか。

【表 4】おきがる環境講座 内容理解についてのアンケート設問内容

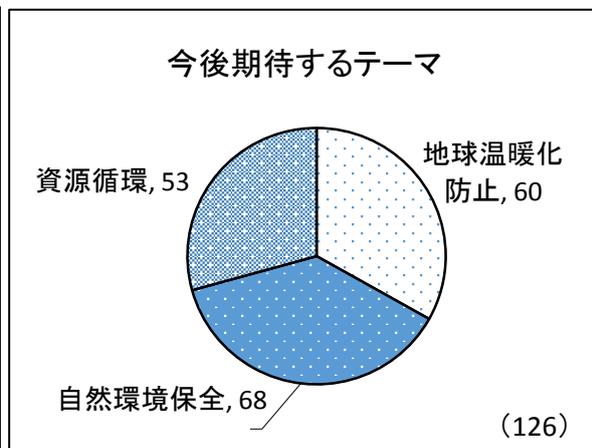
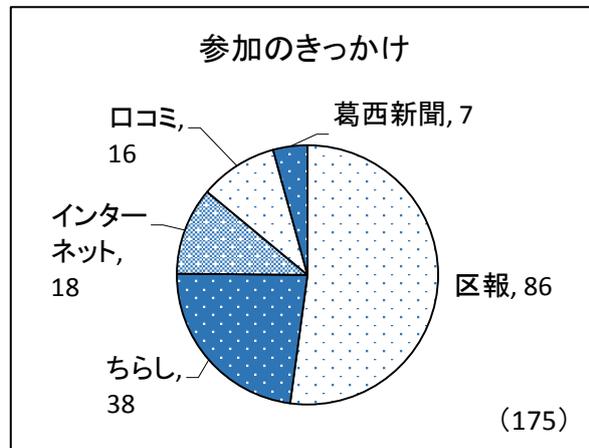
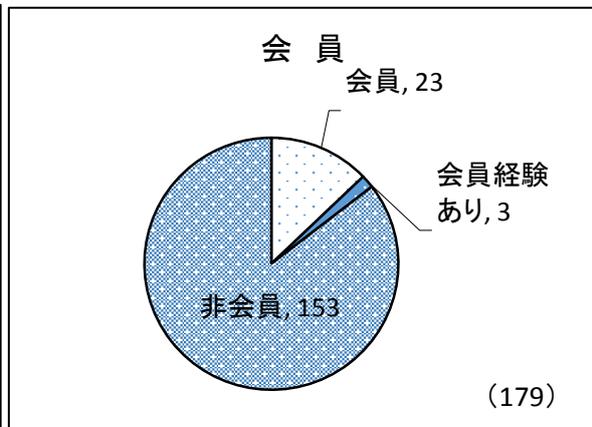
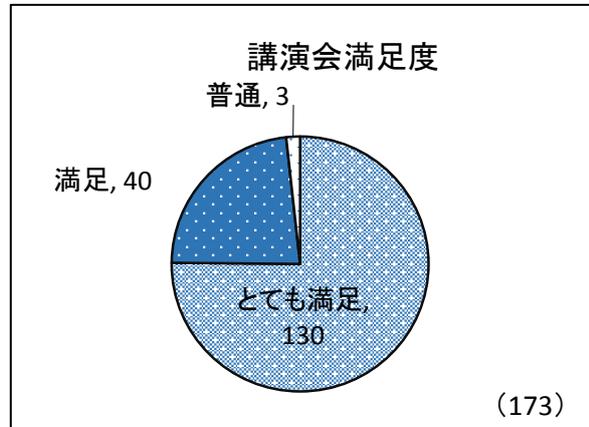
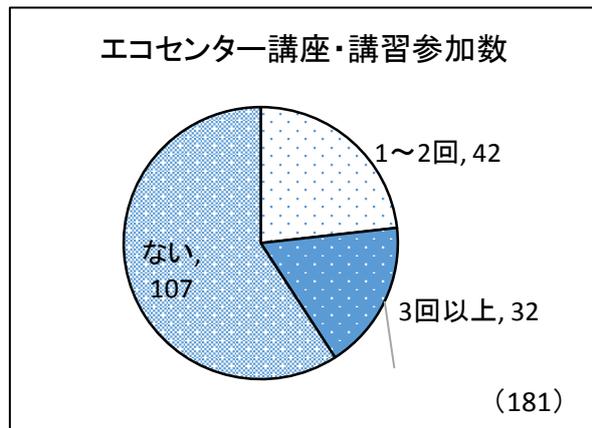
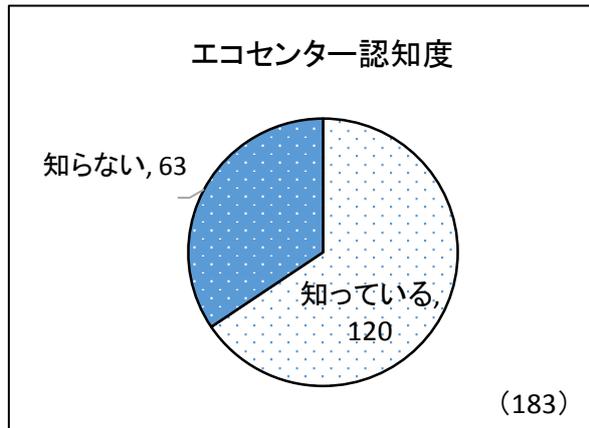
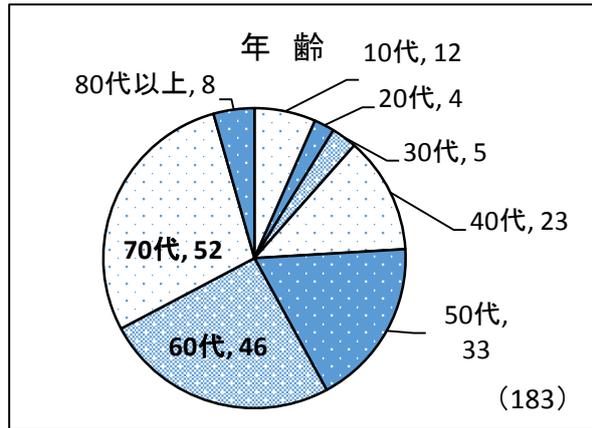
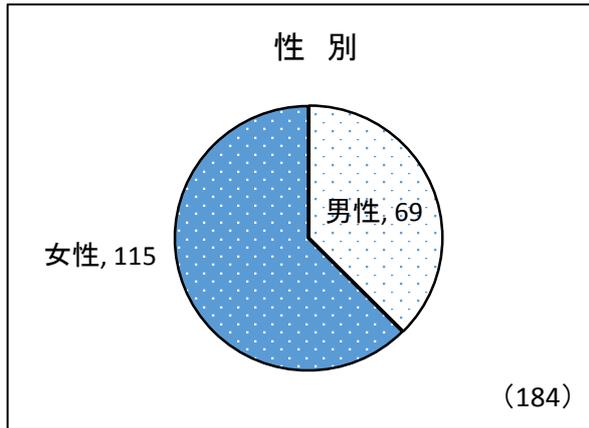
	タイトル	内容理解 アンケート設問内容
第 2 回	燃料電池で動く都バスに乗って、未来のエネルギーを学びに行こう！～「水素情報館・東京スイソミル」「えこっくる江東」見学～	「水素エネルギー」について理解できましたか。
第 3 回	異常気象と 2100 年の日本	「異常気象、地球温暖化の影響や対策」について理解できましたか。
第 4 回	エコクッキングで減らそう！食品ロス	「食品ロス」および「食品に関わるエネルギー消費」の現状と対策について理解できましたか。
第 5 回	葛西海浜公園で干潟をきれいにしよう！～清掃活動を通じて自然体験～	葛西海浜公園での、民間と行政の自然環境保全の取り組みについて理解できましたか。
第 6 回	地球温暖化と異常気象～「首都圏外郭放水路」「新三郷浄水場」バス見学会～	地球温暖化防止だけでなく、温暖化がもたらす影響への対策が必要になっていることが理解できましたか。
第 7 回	ごみの行方を見てみよう！～「新江東清掃工場」「中央防波堤埋立処分場」バス見学会～	回収されたごみの処理過程と処理過程や現状について理解できましたか。
第 8 回	SDGs って何だろう？	“SDGs”について理解できましたか。
第 9 回	ラムサール条約と湿地の保全～西なぎさの野鳥観察会ほか～	葛西海浜公園は「ラムサール条約」登録湿地となりました。自然環境を守り、育てていくことの大切さを理解できましたか。



第1回 オープニング企画 野口 健 氏 講演会 「富士山から日本を変える」

回答数 184件 (参加 215人)

7月11日(水)実施



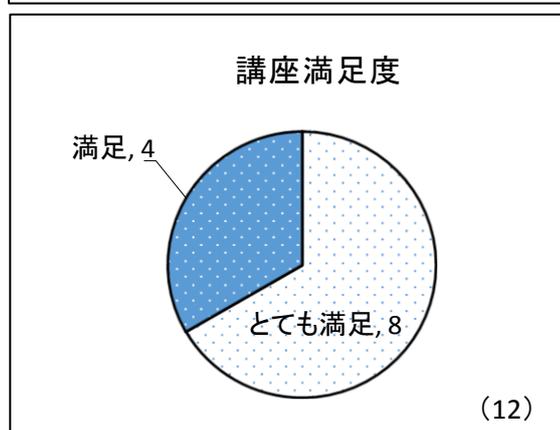
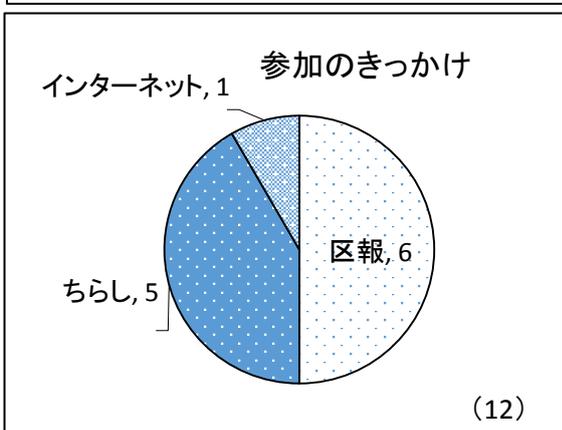
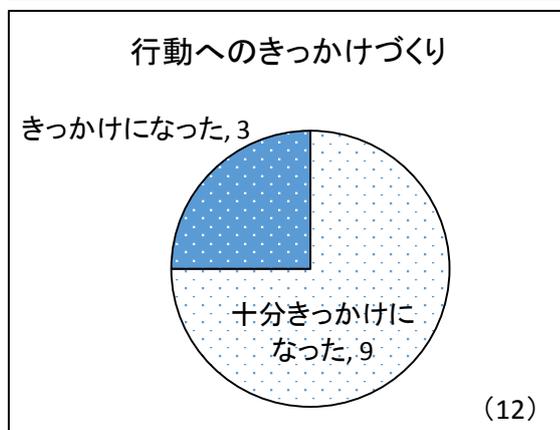
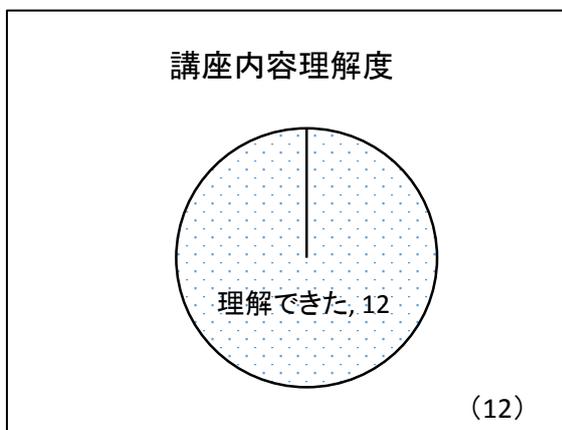
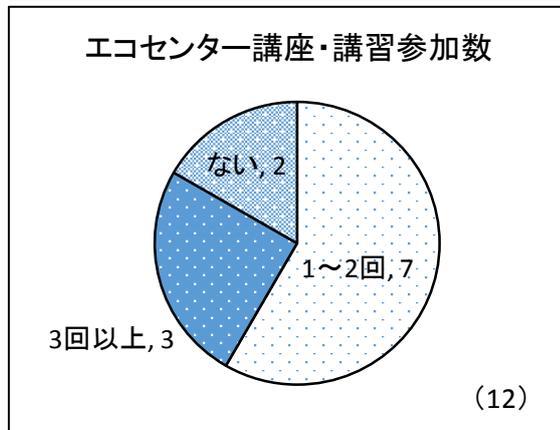
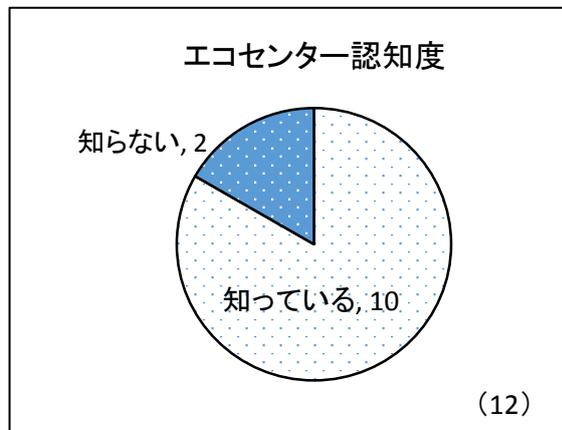
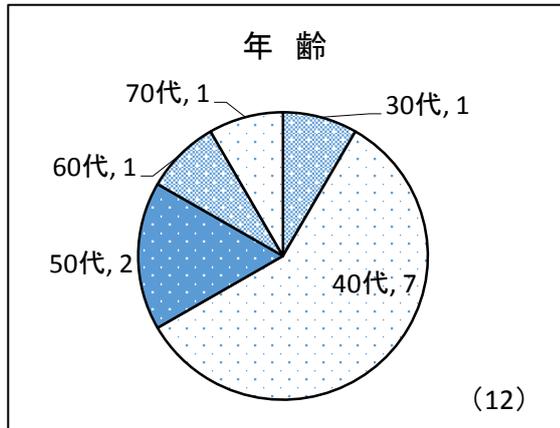
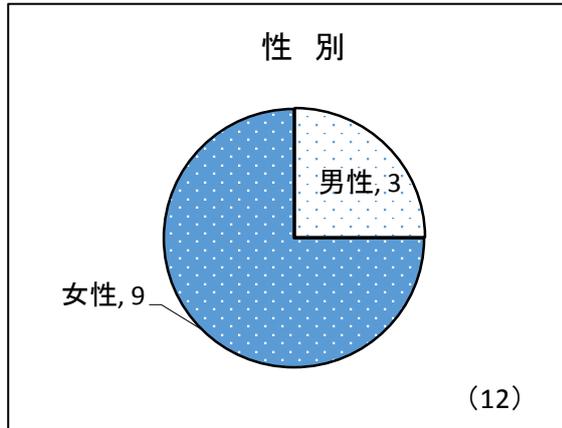
※()は各回答数

※「参加のきっかけ」(第2回以降)と「今後期待するテーマ」は複数回答、以下各回同様

第2回 燃料電池で動く都バスに乗って、エネルギーを学びに行こう！
 ～「水素情報館・東京スイソミル」「えこっくる江東」見学～

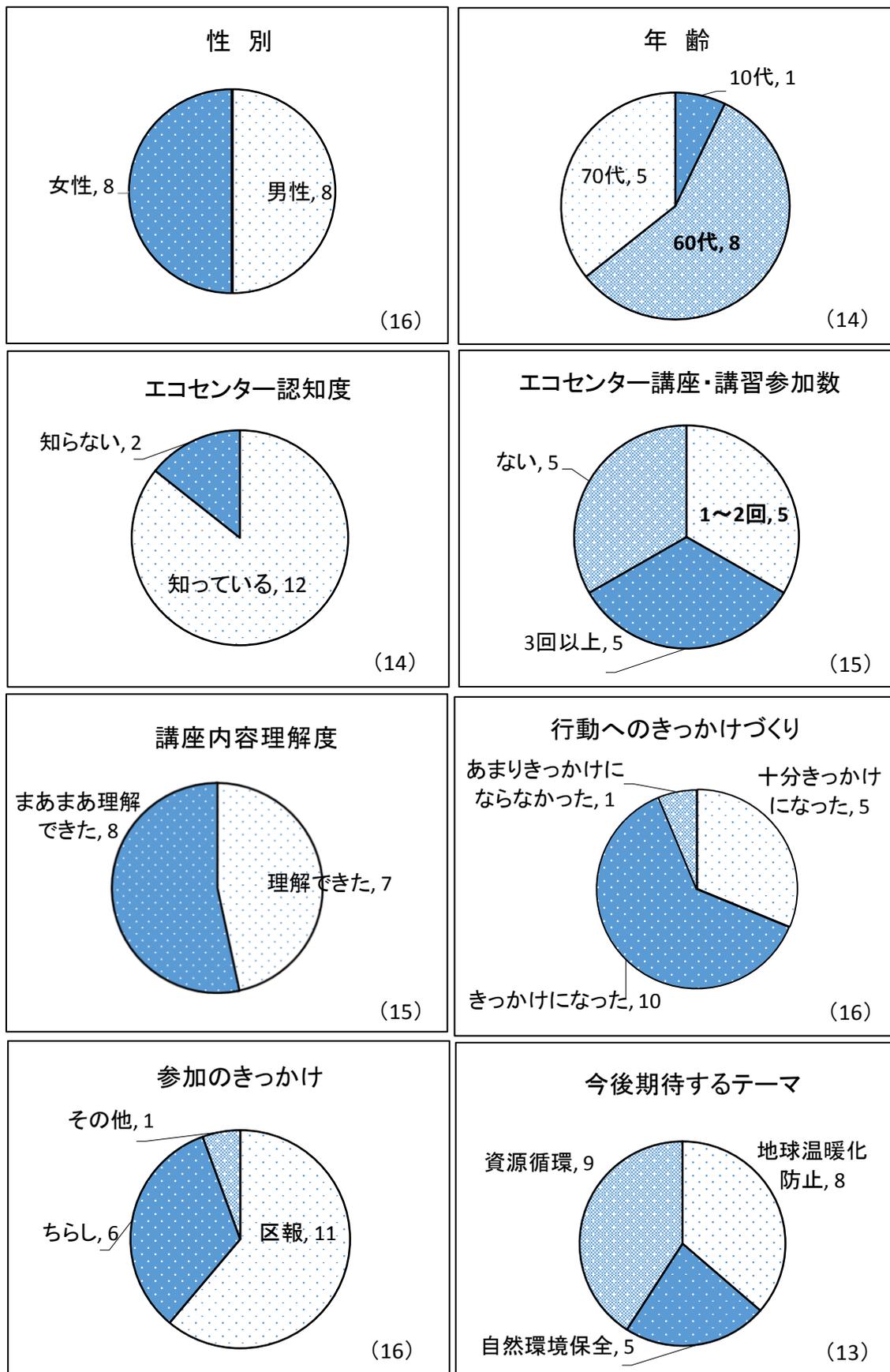
7月21日(土)実施

回答数 12件(参加 21人)



※参加は親子で、保護者12人、子ども9人

回答数 16件(参加 16人)

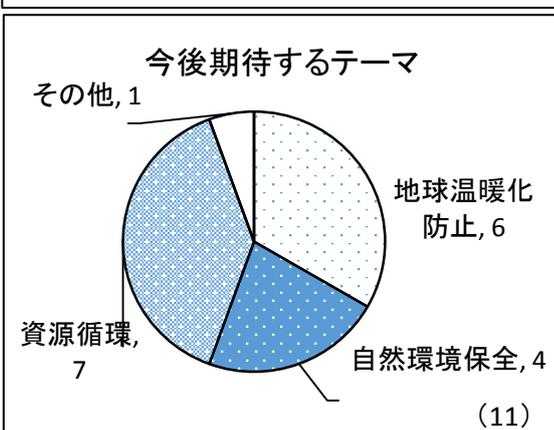
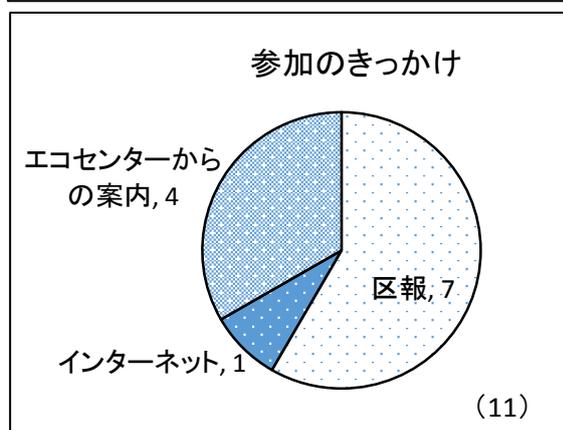
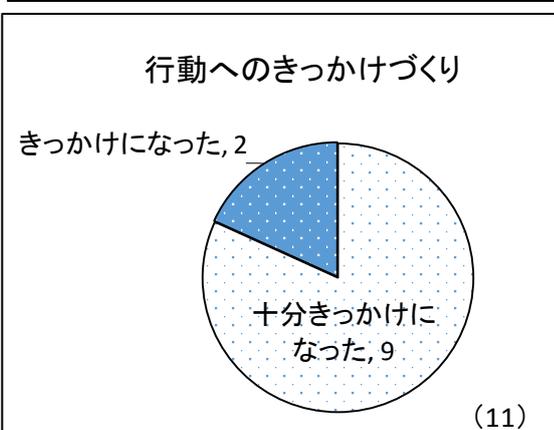
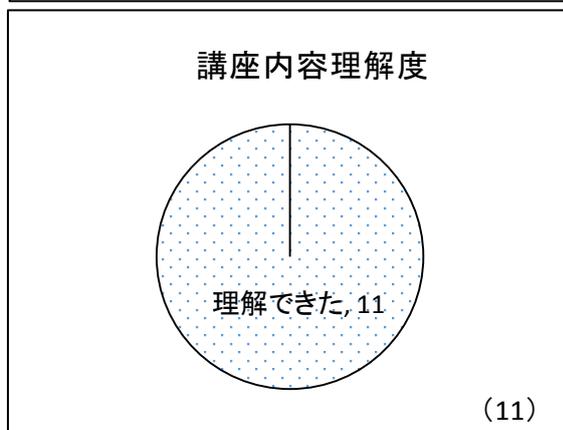
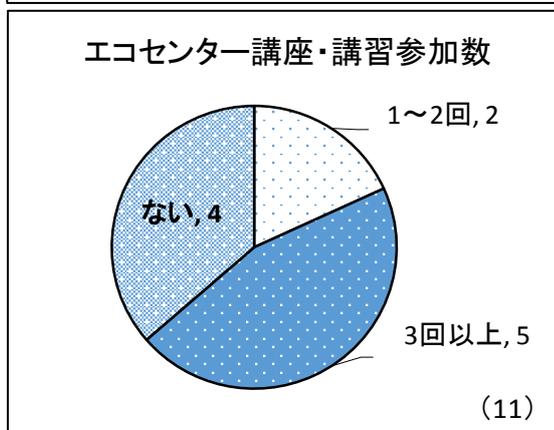
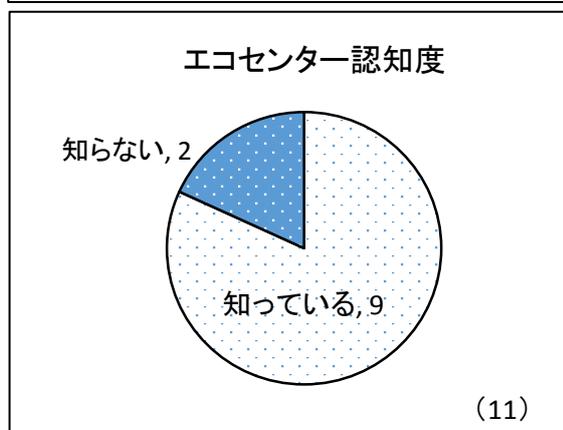
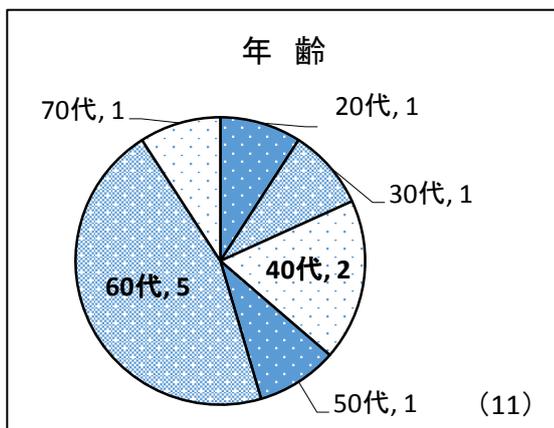
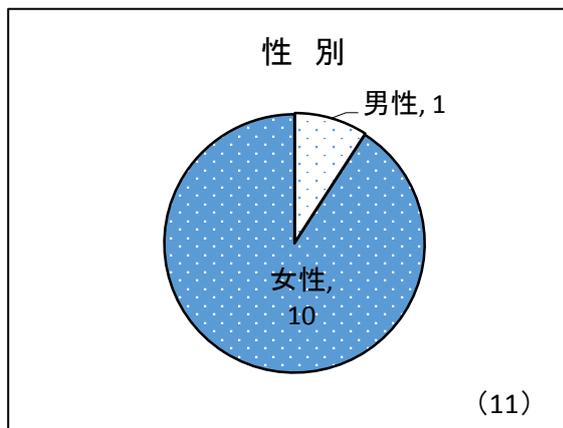


※第3回以降は同様の設問に統一

第4回 エコクッキングで減らそう！食品ロス

9月20日(木)実施

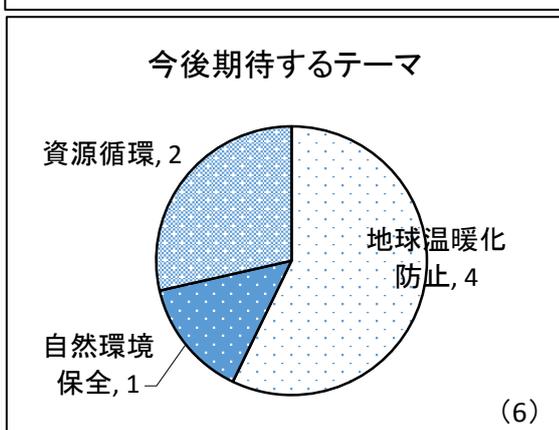
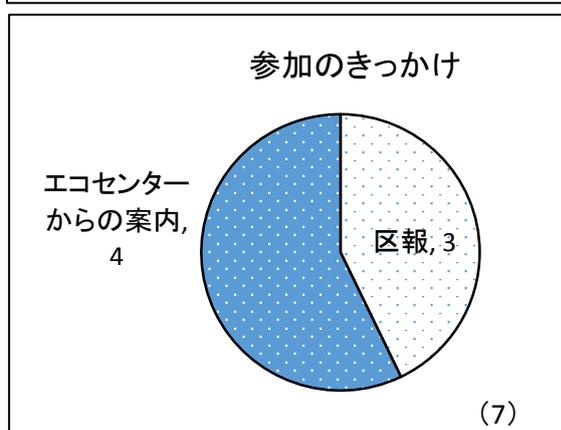
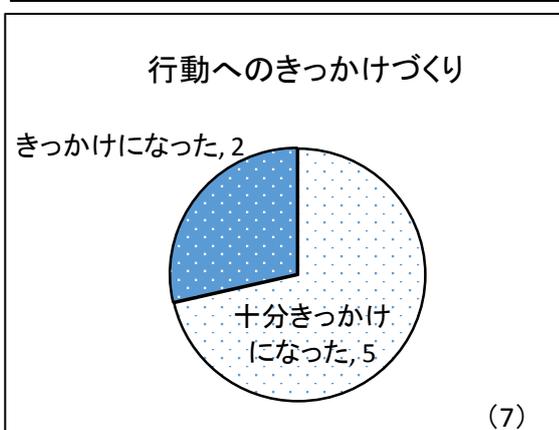
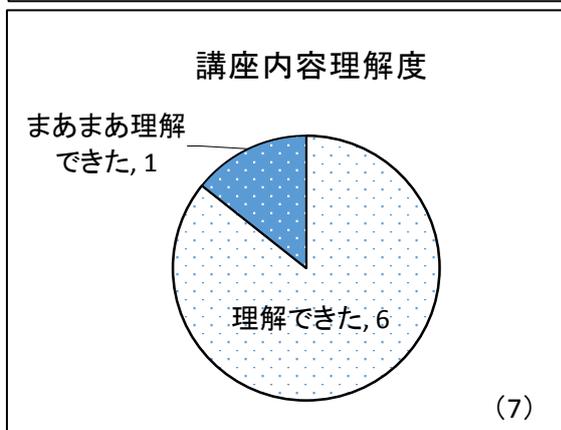
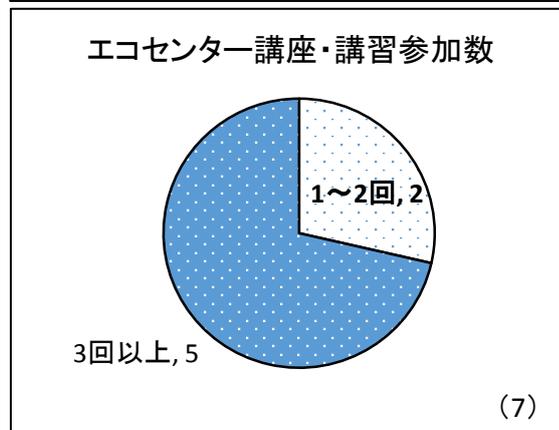
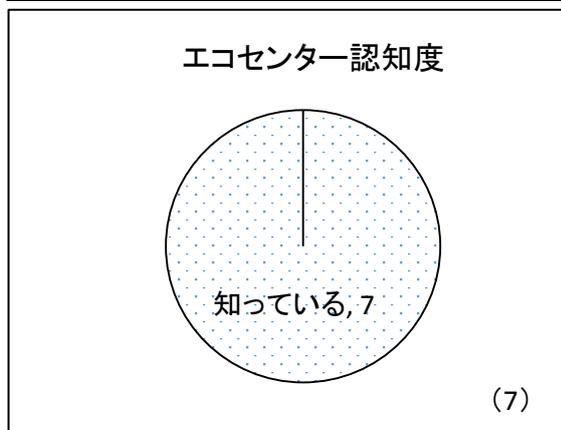
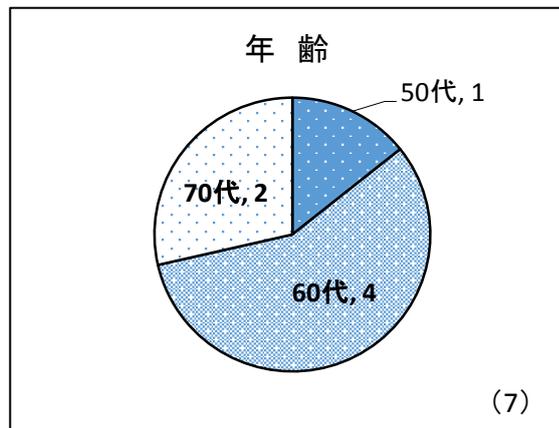
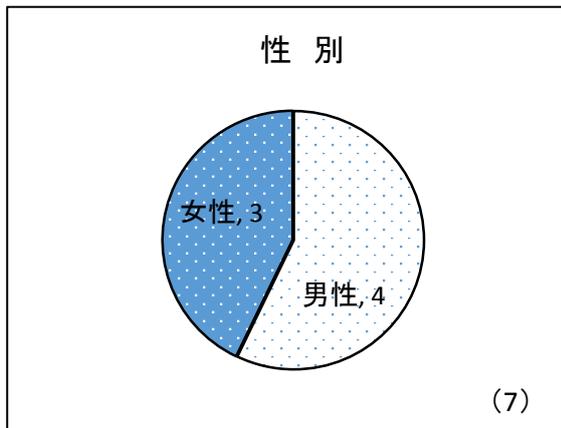
回答数 11件(参加 11人)



第5回 葛西海浜公園で干潟をきれいにしよう！
～清掃活動を通して自然体験～

10月20日(土)実施

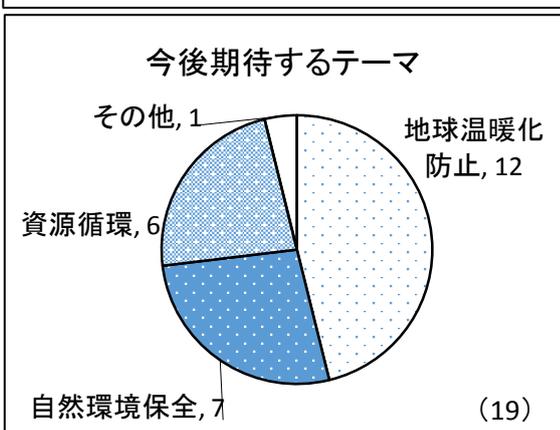
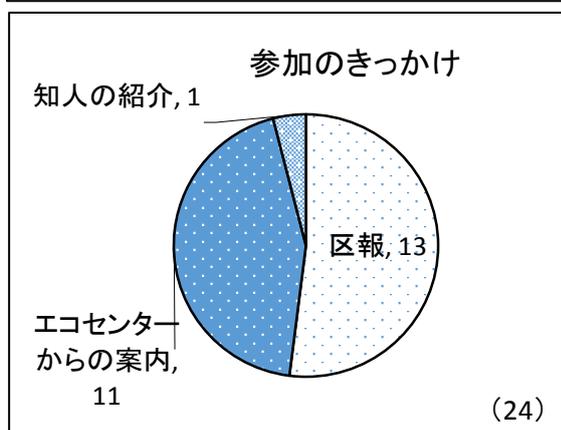
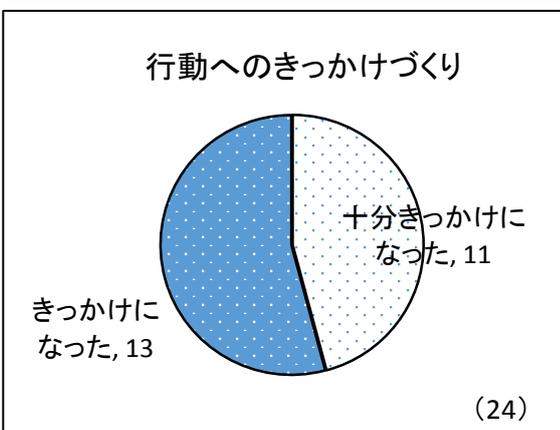
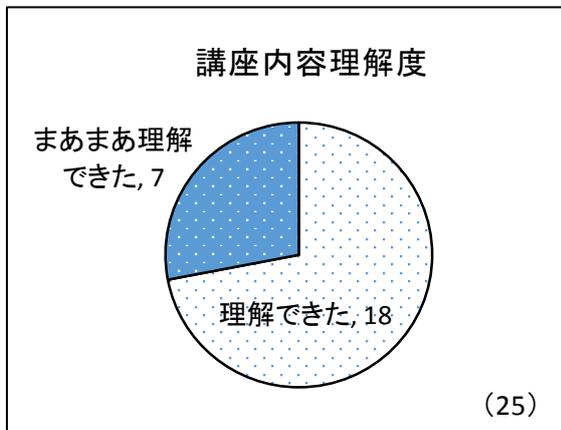
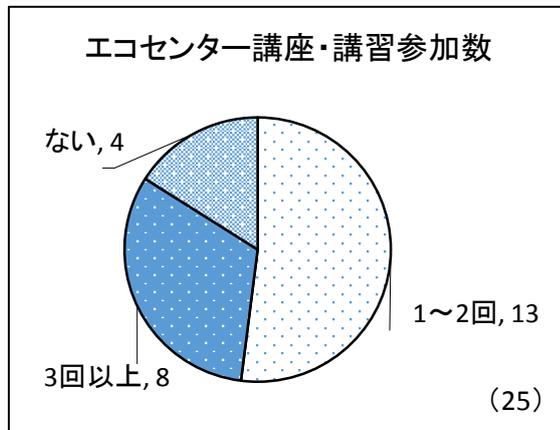
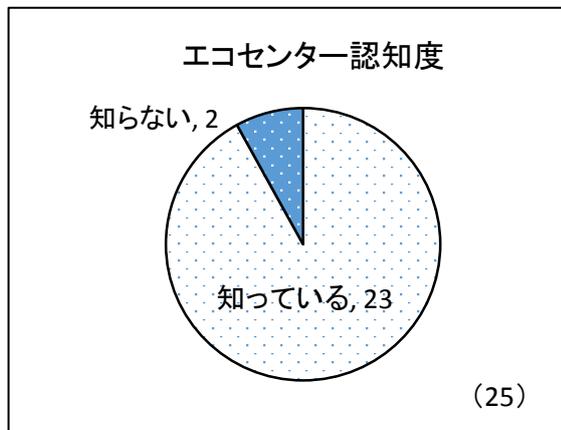
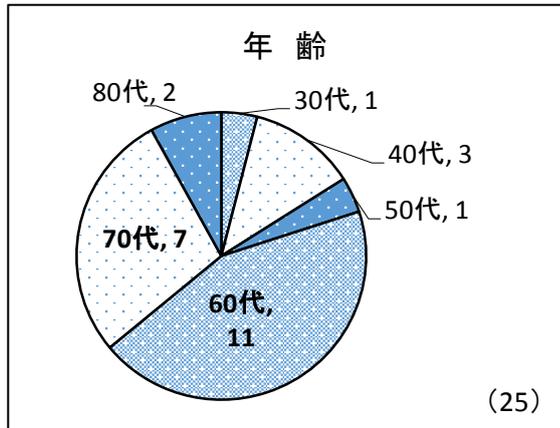
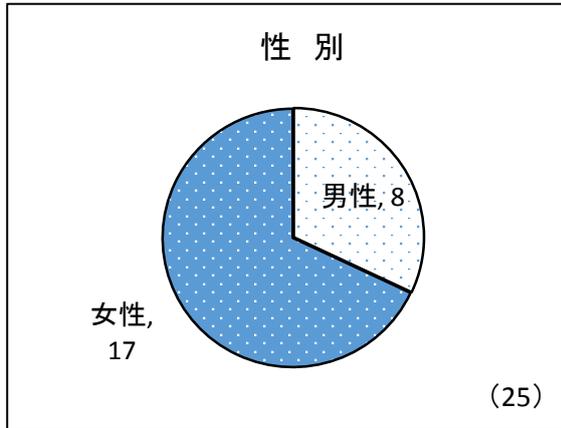
回答数 7件(参加 70人)



第6回 地球温暖化防止と異常気象
 ～「首都圏外郭放水路」「新三郷浄水場」バス見学会～

11月1日(木)実施

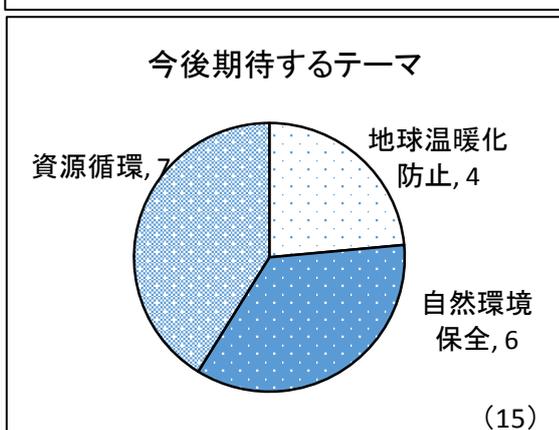
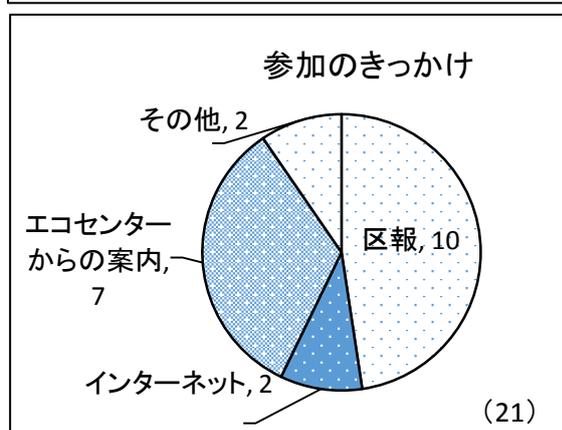
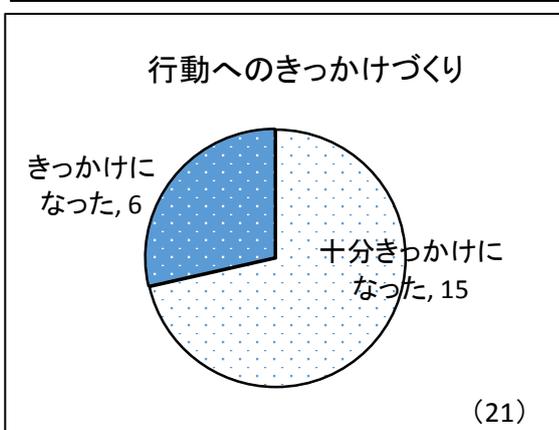
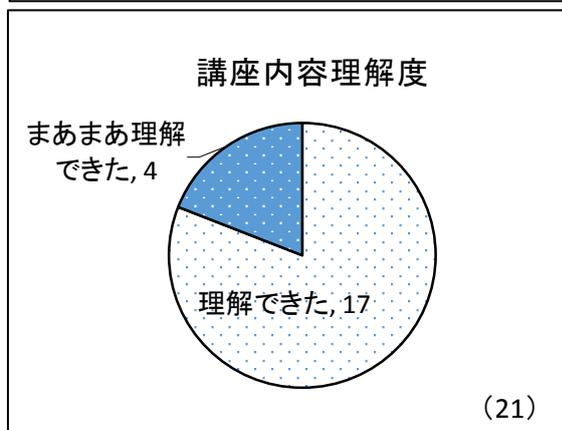
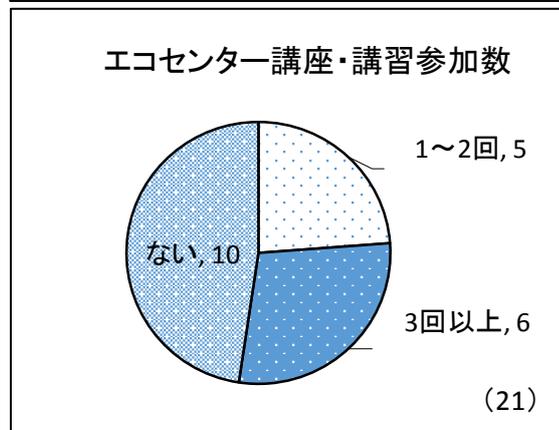
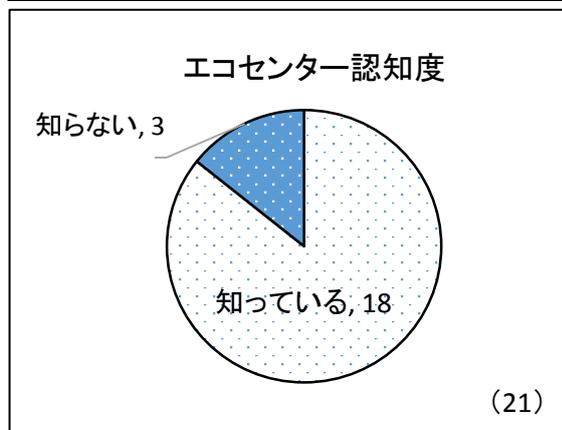
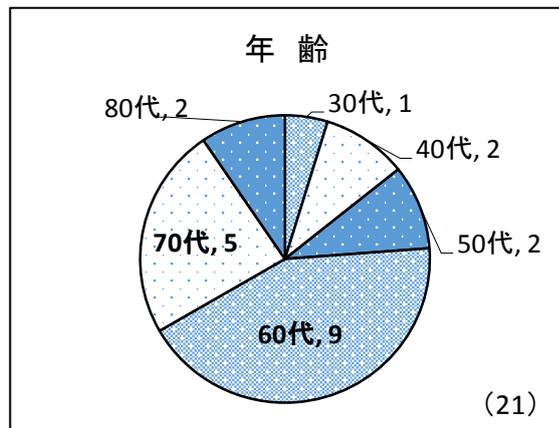
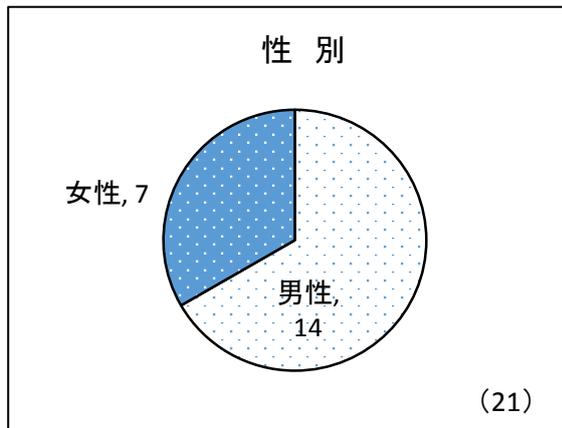
回答数 25件(参加 25人)



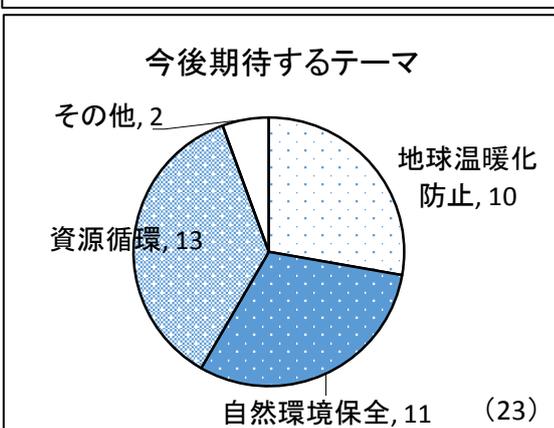
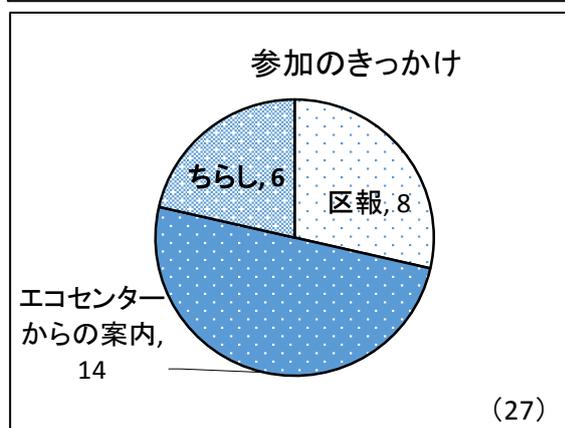
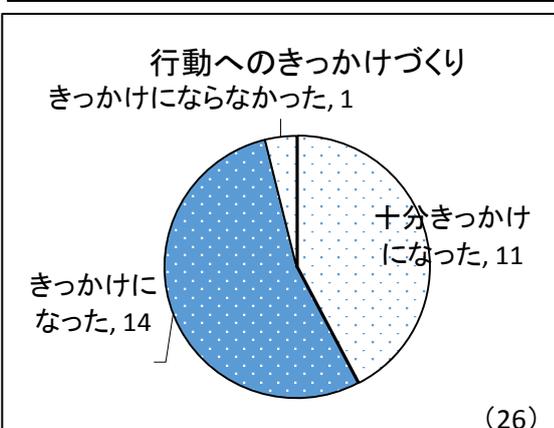
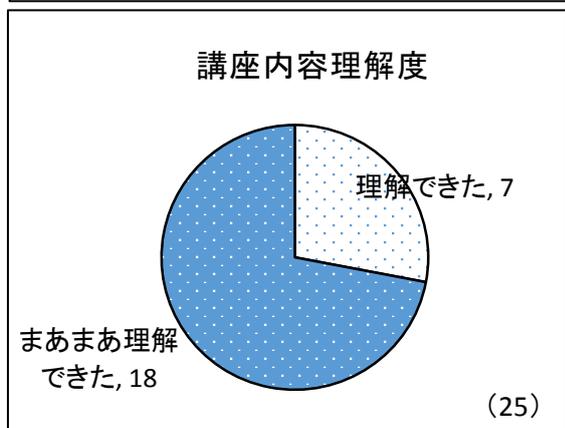
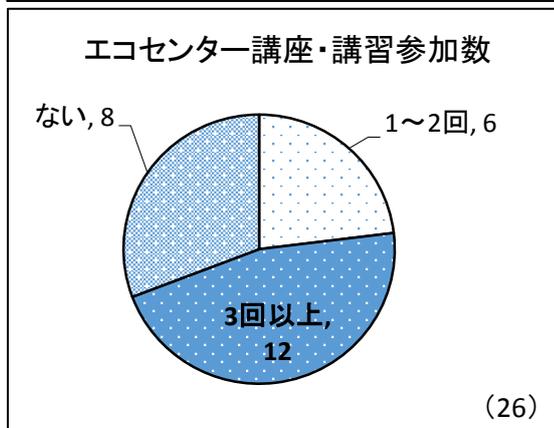
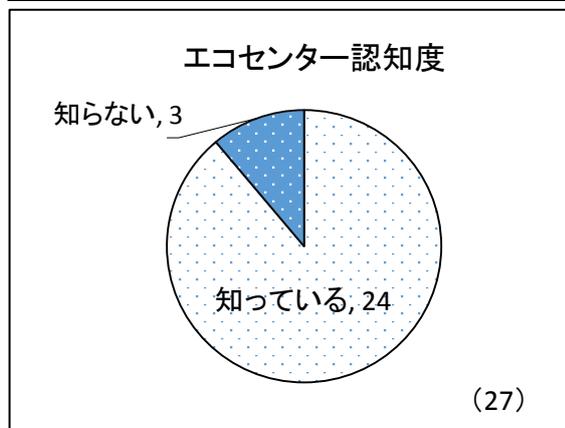
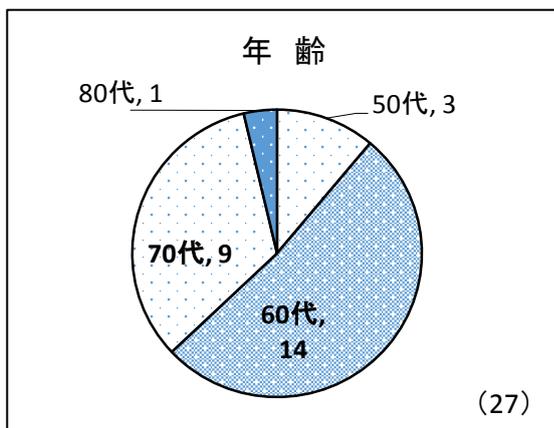
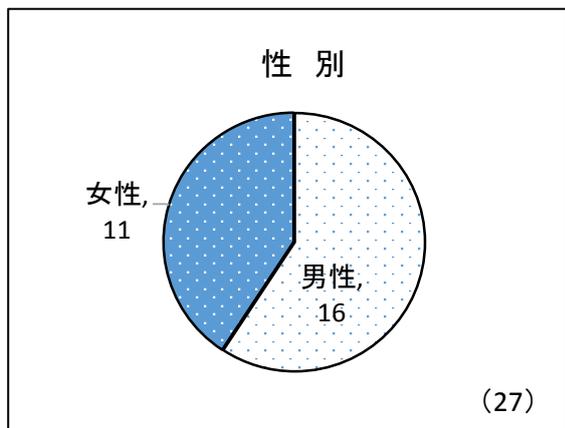
第7回 ごみの行方を見てみよう！
 ～「新江東清掃工場」「中央防波堤埋立処分場」バス見学会～

11月21日(水)実施

回答数 21件(参加 22人)



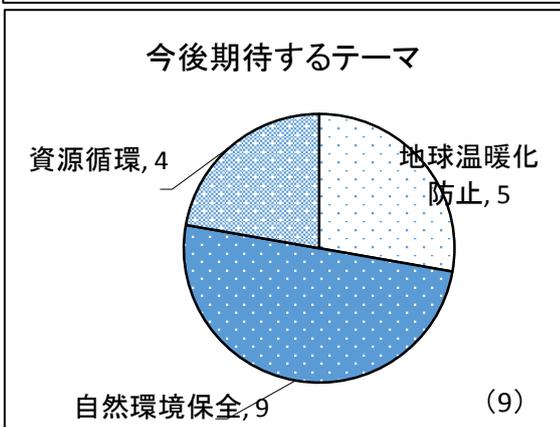
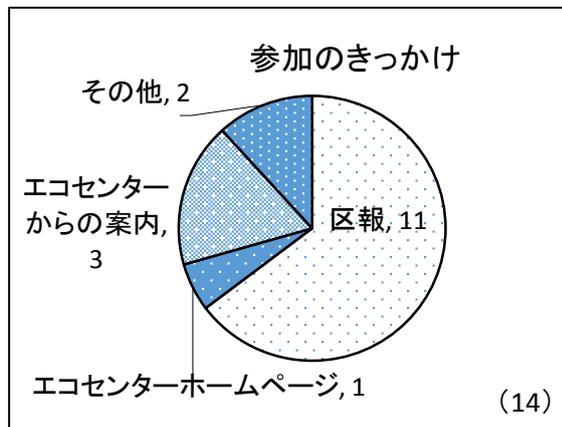
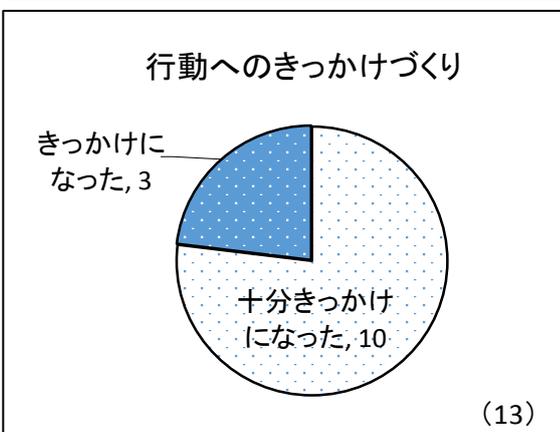
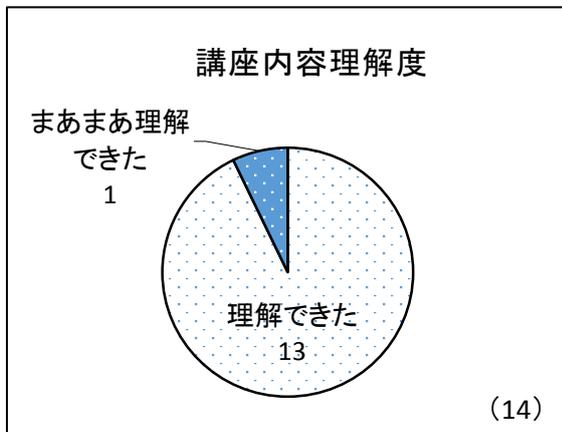
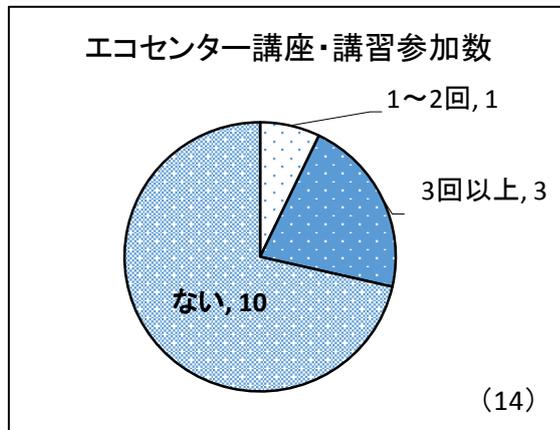
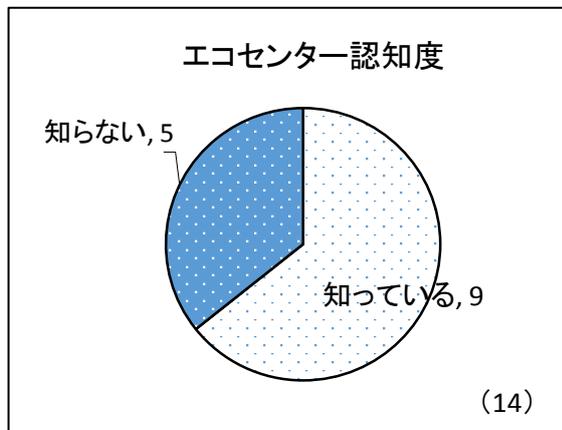
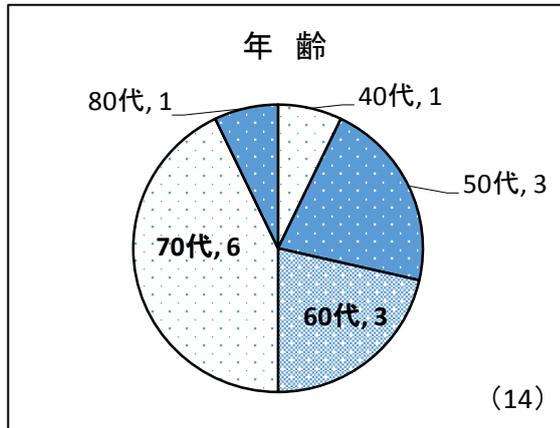
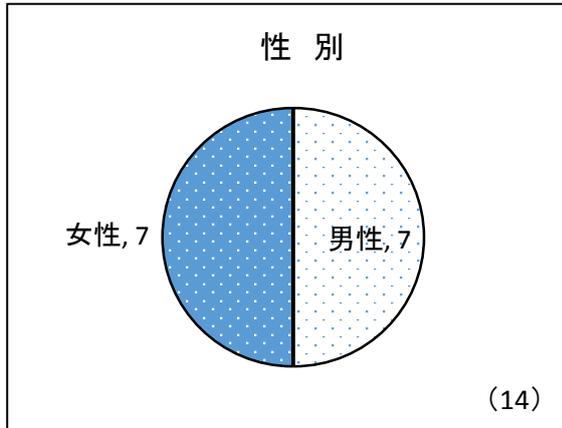
回答数 27件(参加 29人)



第9回 ラムサール条約と湿地の保全
～西なぎさの野鳥観察会ほか～

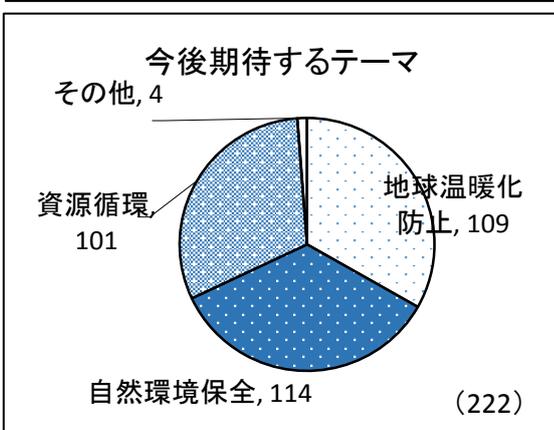
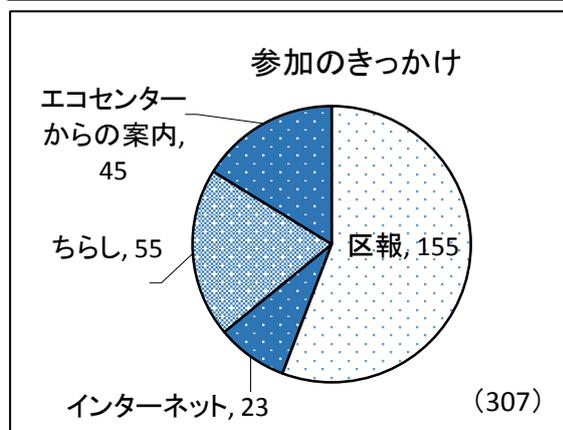
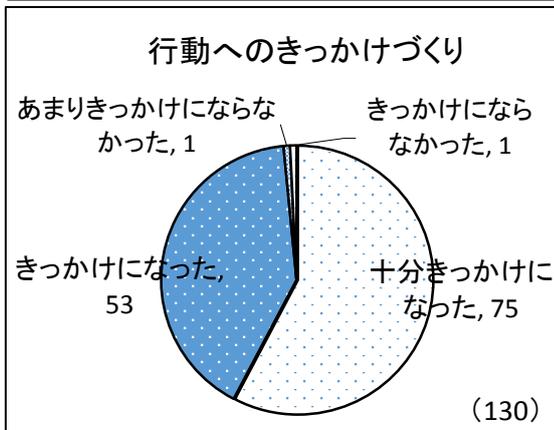
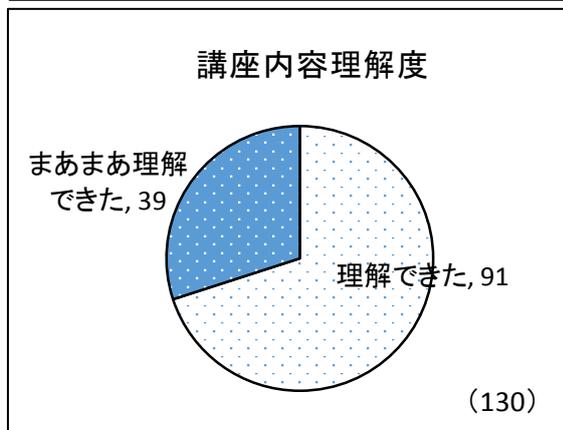
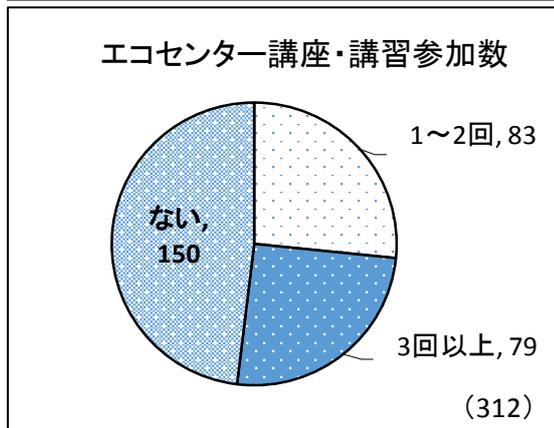
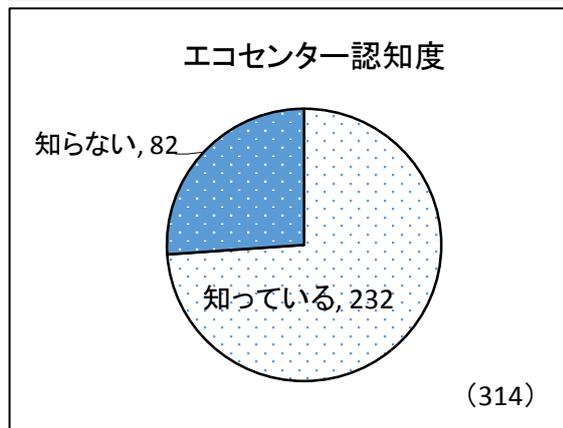
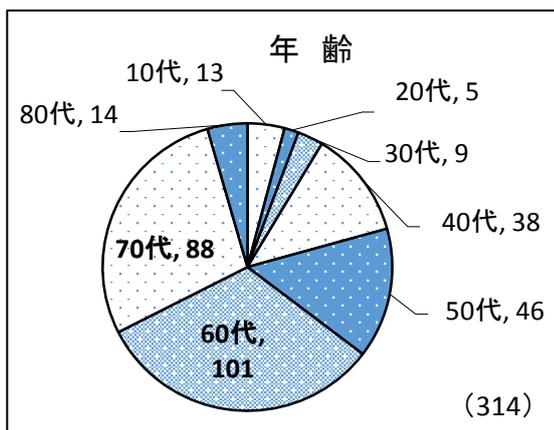
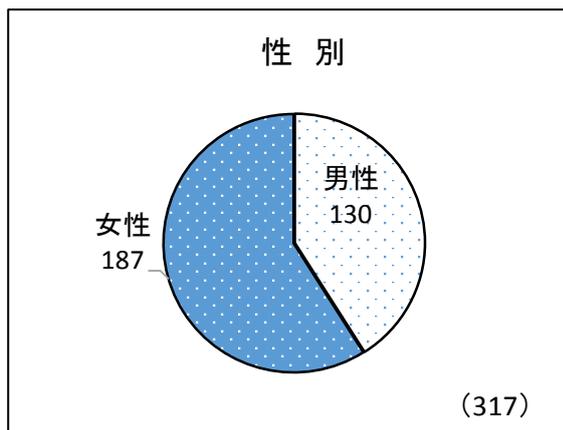
2月14日(木)実施

回答数 14件(参加 18人)



総計

回答数 318件(参加 427人)



※「講座内容理解度」「行動へのきっかけづくり」は第2回以降の集計(参加 212人)

※「今後期待するテーマ」は第2回を除く、第1回および第3回以降の集計(参加 406人)



編集/発行： 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

〒134-0091 江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀 3 階

電 話： 03-5659-1651 FAX： 03-5659-1677

代表 mail： edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp

URL： <http://www.edogawa-ecocenter.jp/>